

平成 24 年 10 月 10 日発行
第 173 号

康寿診報

編集 / 発行 医療法人社団 康寿会 加藤内科医院

〒421-0301 静岡県榛原郡吉田町住吉 303-1

Tel : (0548)32-0701 緊急用 : 090-1758-1712 Fax : (0548)32-1280

榛原医師会の「緊急停止状態」 即刻現世で処す事 ～ 「組織の義」 心得る事を学んで《その 》

「緊急停止の成されぬ状況」 愕いている。先月 9 月中 29 日(土)を最終に 五回に亘り「榛原医師会執行部宛」に 下記 の内容 処していただくようお願い “書”を提示した。

榛原医師会執行部御中宛て書面 [NO.1-5] (平成 24 年 9 月 7・11・14・21・29 日)より抜粋
前回の総会議事録の提示

裁定委員会に提示した 過去の私 加藤寿夫の提示した“書”の内容、前回の総会・副会長との面談の内容を踏まえ、処していただく事

会長・副会長 その他執行部の方々に対して 私 加藤寿夫の提示した“書” [No.表示あり]、今一度 目を通していただき 正確に処していただく事
会長に提示した“書” 役員会の皆さんへの開示 必要・必至の事です。オープンにしないで構いません。

事務長の下に すべて保管されている事、何度か確認しておりますが、紛失・欠損等あれば 再提示しますので 申し付け下さい、

過去数年 百回以上に及ぶ 榛原医師会会長 高木平氏への 私 加藤寿夫の「前向きな申し出」に対し、無言・隠蔽の上 「上から目線で突っ撥ねる」姿勢、この訂正を 過去何度も個人的にも促がし お話して、高木平氏の弁 “非”が有る事は「彼の喋った内容 そのまま本人に提示」している。しかし 総会の席など “事”有る毎に「突然」議案に上程するのか等 険悪なムードを醸し出し、私 加藤寿夫を「名指して 怒ったように “理”も無く 却下」し 通してきた事、高木平氏の「“個”で“責”が負え無く成ると 組織に責任を転嫁し 「“共同責任・共同無責任体制”」「各論無しで 無言・隠蔽 討議打ち切り」「“黙る事”を強要」の姿勢、この継続、「裁定委員会の “すべて”と云う曖昧な“言”」「責任者不在の状況」等 解除・訂正を 願っております。

榛原医師会執行部とし “確”と受け留めていただくべく、副会長両氏に対し 高木平氏が処する様に促していただく事、更に個別に 赤堀彰夫副会長には [2012.7.13.昼 面談の内容] 特に 事務方の「書面 受け取りましたら “拝受”・“届け済”の報告」の徹底・「榛原医師会の“機密事項”担保」の件、石井英正副会長には「裁定委員会に関与した 責任者としての“責”」、以上に付き 「“時の区切り”を付け “新しい活動への展開”を 願う想い」「お互い “責”を持ち “確”と 行動」と 何度も申し上げ、最終的に 10月6日(土)「今月末 平成24年10月31日(水)まで 期限を区切っております」と 赤堀氏には37回目 石井氏には22回目の“書”を 提示しました。

先月の [静岡県医師会報 2012.9. No1493 P117-123]の掲載の「議長宛 動議提出の通告」 「浜岡原子力発電所を永久停止し、廃炉する事の決議を求める件」の内容、何度も読み返した。表信吾先生の申す事は “極々 尤も”であり 物申す人としての姿勢、そして これを受け留め、オープンに討議を成し、裁量は 県医師会会長 鈴木勝彦氏はじめ執行部が掌握し、結論を出し、“事”の終結を成した事、“天晴れ” これを討議の中 そして広報の中にみました。

「トップとしての責任 事実を正面から受け留め “事”を成す」 世の常でありたい、加藤寿夫

糖尿病治療のABC [仮名]より抜粋

第一章 第一部 [章1-]

「生活習慣『食事・運動は第一義』、ただし『薬剤で補うこと』を見くびるな！」

2型糖尿病は“食”の病気、そして“運動不足”が わざわいする病気であることは だれもが認める 事実であります。

そして この中の多くを占める方が メタボ体質となると リスクが増す、現代社会で急増している肥満状態から発病してくるものであります。

糖尿病が発症する過程、この状態には 発病の前の状況 予備軍といわれる状態から、食後の血液中の糖分 血糖が処理 仕切れなくなり、食後血糖のみが 上昇する状態、さらに 食前の血糖まで上昇してしまう状態、さらに 血糖の高いこと 高血糖の持続により 巻き起こる 合併症まで、糖尿病に病期があるように、物事には すべて段階があります。

さらに 恐ろしいことに、一般的な糖尿病の病期を飛び越えて、食後血糖のみが 上昇する状態、糖尿病の発症初期であるにもかかわらず、この時期に すでに 動脈硬化が進み、この動脈硬化の進展により、この糖尿病の病期のごく初期に あきらかに 虚血性心疾患 いわゆる 狭心症・心筋梗塞が 数倍の頻度で起ってくる。現実には正確に受け留めるべきです。

両親が糖尿病で 遺伝的なリスクが とても高い方でも、理想的な生活ができれば、一生 糖尿病を発症しないですむかもしれない。これは事実です。

しかし 三食均等に理想的なカロリー・バランスの食生活、さらに 運動をすることが可能か、これが 自分の日常生活の中で、現代のストレス社会の中で 成されるか？

多くの方が “NO”、「不可能である」と 答えるのではないのでしょうか…。

であれば いかにか考えるか？

「予防薬を投与する」多くの方が 受け入れられないと思いますが、これも一つの 大切な考え方ではないのでしょうか？

そして 現代医学では 健康体の時期から 個々の個体 人間という生命体に 遺伝学的に弱い部分に合わせ これを補強する薬物を投与すること、これにより 個々の人の 健康寿命を延長させることが可能である

こんな“事の現実” これも 良き悪きは別問題として、最新の医学の最先端、医療技術の中に 見えてくるものであります。

現実には 冷静に受け留めて、自分にいかしていく、私はそんな生き方を自らが実行しようとしている 人間、そして 医師であり、この“感”そしてこの“現実”を 皆さんと共有しよう、そんな思いから本書を書いております。

少なくとも 親族に糖尿病の人がいて 遺伝子学的に やばければ...、少なくとも 初期の段階が診断されたら 早急に食事・運動を考え行動する。食・運動に 自ら介入する。当然の手段 手当であると考えます。

さらに 薬剤による介入も 少しでも早期に 考えていただくことも 大切な 第二の手当であると考えます。

最近の 医療を施す側の 医学の常識としては、早期に介入すれば より早い時期ほど、理想を云えば 何の健康障害も無い 3歳児から、さらに生まれた瞬間から、またまた 母胎の中の胎児の時期から、人間としての生物の命は 環境因子に 大きく左右され 育まれ、営みをはじめます。

3歳児の いや生まれてからの食育は 生命予後を大きく左右することは まぎれもない事実です。

自分 己をいう生命体に対し、健康に良いこと、これを「知ること」今の非健康といえる状態を「変えること」、そしてこれを「続けること」、すべてのことに通じる 大切な道筋、生命体を維持するための 生きるための原点です。

飛躍しましたが、自分の人としての生命体、これを 外から 第三者的に 静かに見直し、考えていきましょう。

ストレスにさらされたときに いかに対処するか、現代社会は 物が豊富に存在 すぐ何でも手の届くところにあり、飽食で当たり前、そんな世の中。日本では 浮浪者でも 肥満から・メタボから 糖尿病患者さんが増えているのが現実。

一方で、先進国は飽食の世ですが、サードワールドの国では 貧困飢餓の現実もある。

そんな現実もふまえ、飽食が必ずしも 心まで豊かな社会に直結する出来事ではない現実、

「飢餓にさらされ、食べ物がなく、苦しむ世界」を 知らない日本。若い時期から「食に対する摂生を考え、こころ豊かに」

そんな“事”もふまえ 本書を読んでいただければ 本望です。

加藤寿夫

糖尿病治療のABC [仮名] は 現在執筆中で 本年 2012.11. 発行予定です

《HbA_{1c}の変更について》

本院では 2012.10.1.より 院内での表示は 今まで用いていた JDS 表示 から NGSP 表示 に 変更 します。

これにより 従来の値より 0.4 程度 高い値 で表示されます。



・JDS [=Japan Diabetes Society:日本糖尿病学会値]

・NGSP [=National Glycohemoglobin Standardization Program:国際標準値]

特定健診 いわゆるメタボ健診では 来年 2013.3.31.までは JDS 表示で示されます。本院受診時には これらもすべて NGSP に直して 表示します。

《インフルエンザ ワクチン 予防接種のお知らせ》

今年度もインフルエンザ ワクチンの予防接種実施中です。

本院の 接種料金は 一回目 ¥3000 二回目 ¥2000 です。

小学生まで(12 歳以下)の子供さんは 原則 2 回接種です。

65 歳以上の方は、町・市の補助があり、各町・市の手続きの上、接種していただくと助成の対象となります。

《看護師(若干名)募集のお知らせ》

応募/電話にて連絡(0548-32-0701)の後 履歴書(写真添付)を連絡先を明記して 本院へ郵送して下さい。

《臨時休診のお知らせ》

お薬を切らさないように
気を付け下さい。

11 / 2 (金)・24(土)、12 / 3 (月)・25(火)・29(土)

来年 2013 年 1 / 2 (水)・3 (木)・4 (金)・5 (土)

は臨時休診です。 12 / 31(月)は 当番医です。